

政策課題4-3 美しく良好な自然環境の保全、創造

- ・豊かで美しい自然環境の保全と創造を図る。
- ・自然と共生する都市空間の構築

○自然環境の保全と創造

- * 一人当たり都市公園等面積を $20 \text{ m}^2 / \text{人}$ に拡大
- * 干潟・藻場を回復・創造
- * 大型油回収船が2日で到達できる圏域を概ね100%に
- * 閉鎖性水域等において下水道の高度処理人口普及率を向上

整備指標例	現況値 (測定年次)	長期的目標値 (目標年次)
・1人当たり都市公園等 面積(再掲)	$7.9 \text{ m}^2 / \text{人}$ (平成11年度末)	$20 \text{ m}^2 / \text{人}$ (21世紀初頭)
・藻場・干潟の回復面積	約6% (平成12年度)	約3割 (21世紀初頭)
・大型油回収船による2日 到達圏カバー率	約70% (平成9年)	概ね100% (平成14年)
・下水道の高度処理人口普及 率(再掲)	8% (平成11年度末)	約12% (平成14年度末)

- ・1人当たり都市公園等面積：都市計画区域内とカントリーパークの存する市町村の1人当たりの都市公園等の面積
- ・藻場・干潟の回復面積：港湾内で高度成長期以降失われた藻場・干潟のうち、回復・創造されたものの比率
- ・大型油回収船による2日到達圏カバー率：海岸線の延長でカバー率を評価
- ・高度処理人口普及率：高度処理人口 / 総人口
- ・高度処理人口
：(高度処理水量 / 処理水量) × 処理人口
水道水源地域、閉鎖性水域の水質改善等を目的として行われる、通常よりもさらにきれいな水質の処理水を得るための下水処理を行っている地域の人口

○自然と共生する都市空間の構築

- * 人口集中地区の4車線以上の国道等において、緑化済の割合を全体の75%まで向上(再掲)
- * みなとの緑化面積拡大

整備指標例	現況値 (測定年次)	長期的目標値 (目標年次)
・都市内道路緑化率(再掲)	44% (平成9年度末)	75% (21世紀初頭)
・港湾空間の緑化率(再掲)	約7% (平成12年度)	約1割 (21世紀初頭)

- ・都市内道路緑化率：D I D地区内の完成断面が4車以上の国道、都道府県道、市町村道の管理延長に対する緑化延長の割合